

事業名	漁業後継者確保事業
-----	-----------

総事業費	300 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		漁業開始の経費負担の軽減及び操業の活性化
事業の実績 と成果	取組内容	漁業の担い手に対して漁船の補機の修繕に係る費用を支援した。
	成 果	支援を実施し、操業意欲の向上及び水揚げの拡大を図ることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業内容を対象者へ説明し、事業を適切に実施することが課題
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	漁業者が年々減少する中で、新規就業者への支援を行うことで、漁業者の確保を図ることを目的としている。 令和4年度からは、漁業者からの意見を踏まえ、新規就業者が漁業機材を導入する際の負担軽減として、補助上限を引き上げ支援をするよう見直しを行った。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業内容を適切に理解してもらい、事業を実施する。
-----------	--------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	漁獲共済加入支援事業
-----	------------

総事業費	561 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図		漁獲量が年度ごとに差が激しい状況にあることから、漁獲共済への加入を促進し所得の安定を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	漁獲共済加入に係る漁業者負担額の一部を助成した。
	成 果	漁業者負担額の一部を助成することにより、漁業者の操業意欲向上を図った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	担い手の漁業者が共済加入できるように事業の周知を図ることが課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	自然環境の変化等により、年度ごとにより漁獲量の変化が著しくなっている。このため令和4年度より、漁獲共済加入支援として新規に取り組んだ事業である。漁獲共済への負担を軽減することで、加入を促進するとともに漁業者の所得安定化に繋がっている。 今後は、加入のための一定条件を踏まえ、引き続き、制度の周知とともに事業の継続や担い手の確保を図りたい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	対象事業者の拡大を図る。
-----------	--------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	スマート水産業推進事業
-----	-------------

総事業費	1,066 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	機器の高度化により操業の効率化を実施し、経費の削減と所得の向上を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	機材導入に対する支援 ・ G P Sプロッター更新 ・ 電動リールの新規導入 ・ エンジンリモコンの導入 ・ 充電発電機の更新
	成 果	操業の効率化のため機材導入・更新の支援を行い、操業の効率化を図った。

③ 振り返り (Check)

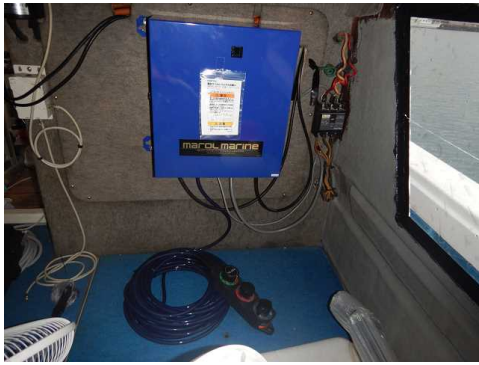
事業実施上の課題 (事業担当者記入)	社会情勢等の影響により、操業意欲の低下が課題
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	近年水揚げ量が減少していることから、効率的、効果的な漁具、漁法により所得向上を目指すため、令和4年度から新規事業として、操業効率化のための機材導入・更新の支援を行った。事業導入により、水揚げ量の増加に如何に繋げるかが課題である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	団体での共同利用機器の利用は現時点では、対象がないため、個人に対して重点的に支援を実施する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	G P Sプロッターの更新 総事業費：770,000円（補助額300,000円）



エンジンリモコンの導入
総事業費：858,000円（補助額：300,000円）



電動リールの導入
総事業費：450,000円（補助額：204,000円）

事業名	漁業振興総合対策事業
-----	------------

総事業費	25,390 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	流通施設の整備による鮮度保持及び魚価の支援により、漁業意欲の向上を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	流通改善操業効率化施設整備事業 ・活魚水槽の更新 ・衛星電話の導入 ・モジャコ漁用竿の更新 魚価安定化支援事業 ・種子島漁業協同組合水揚げ取引額（※モジャコは除く。）142,775,271円の約2割を支援
	成 果	流通改善操業効率化施設整備事業を活用し、漁業の操業から流通施設の整備を行い、水揚量の安定を図った。 魚価安定化支援事業を活用し、操業の意欲向上を図った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業の周知を徹底したが、社会情勢等の影響により、水揚量が増加しなかったことが課題
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルス感染症拡大防止により水産物の需要が減少する中、操業効率化・水産物の鮮度保持に資する共同利用設備の支援を行うことで漁業の操業から流通施設の整備を図り、水揚量の安定化に繋がった。 また、水産物の買い支えを行うことで、操業の意欲向上を図ったが、社会情勢等により全体的な水揚げ量の増加には至らなかった。一方で漁獲額については、増加した。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業休止
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	種子島漁業協同組合の活魚水槽用のタンク及び排水管の更新 総事業費：1,650,000円（補助額：1,000,000円）



モジャコ生産者組合の衛星電話導入
総事業費：1,133,550円（補助額：681,000円）



モジャコ生産者組合のモジャコ漁用竿の更新
総事業費：1,307,680円（補助額：792,000円）

事業名	漁業経営改善支援事業
-----	------------

総事業費	5,110 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	水産業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	操業時に経費の主要を占める燃料油においてその一部を助成することにより、漁業所得の向上と操業への意欲向上を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	※6月補正にて新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により補助単価を増額（1万ℓ超15円/ℓ、以外10円/ℓ） 【実績】 1万ℓ超分：15円/ℓ×116,500ℓ＝1,747,000円、1万ℓ以下分：10円/ℓ×336,300ℓ＝3,363,000円、燃料油使用量：452,800ℓ、補助件数：83件、補助額：5,110,000円
	成 果	漁業における資材経費においては、離島であるため費用格差が生じており本土よりも割高となっている。このことから、燃料油において一部助成を行い所得の向上と操業意欲の向上を図った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	馬毛島関連の海上タクシーについて、年度後半より頻度が上昇している。議会からの指摘もあり、漁業で使用した燃料油との区別が必要であるため、年度後半分について対応した。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和4年度は、操業時の経費負担を軽減するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、燃料油の一部助成を行うことで、所得の向上と操業意欲の向上を図った。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業終了
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明